

令和5年度 病院事業局当初予算要求事項

今後の医療需要の増大・高度化を見据えた社会保障制度改革等の環境変化に適切に対応していくとともに、厳しい医療環境の下でも県立病院としての役割を果たしていくための医療機能の強化、経営基盤の強化に取り組む予算案を策定。

1 当初予算要求総括表

(1) 病院事業会計

(単位：千円，%)

区 分	令和4年度 当初予算額①	令和5年度 当初要求額②	比 較		備 考	
			②-①	②/①		
病院事業収益 a (b+c+d)	28,181,480	29,551,786	1,370,306	104.9		
内 訳	医業収益 b	24,119,476	25,831,946	1,712,470	107.1	
	うち入院収益	16,108,974	17,646,351	1,537,377	109.5	患者数，診療単価の増
	うち外来収益	7,349,205	7,453,943	104,738	101.4	患者数の増
	医業外収益 c	4,032,004	3,689,840	▲ 342,164	91.5	病床確保に係る補助金 1,565,638含む
	特別利益 d	30,000	30,000	0	100.0	
病院事業費用 e (f+g+h)	28,159,159	29,417,466	1,258,307	104.5		
内 訳	医業費用 f	27,649,123	28,954,746	1,305,623	104.7	給与費 +253,297 材料費 +537,381
	医業外費用 g	457,986	411,596	▲ 46,390	89.9	企業債等利息 ▲49,022
	特別損失 h	52,050	51,124	▲ 926	98.2	
医業収支 (b-f)	▲ 3,529,647	▲ 3,122,800	406,847	88.5		
医業外収支 (c-g)	3,574,018	3,278,244	▲ 295,774	91.7		
経常収支 (b+c)-(f+g)	44,371	155,444	111,073	350.3		
収支差 (a-e)	22,321	134,320	111,999	601.8		

資本的 収支	資本的収入 i	1,915,141	1,699,807	▲ 215,334	88.8	企業債 ▲138,000
	資本的支出 j	3,449,674	3,028,318	▲ 421,356	87.8	
	うち建設改良費	1,206,663	1,069,205	▲ 137,458	88.6	資産購入費 ▲213,830 建設工事費 + 76,372
収支差 (i-j)	▲ 1,534,533	▲ 1,328,511	206,022	86.6		

支出予算額 計 (e+j)	31,608,833	32,445,784	836,951	102.6	広島 : 29,850,763 安芸津 : 2,595,021
--------------------------	-------------------	-------------------	----------------	--------------	------------------------------------

(2) 一般会計

(単位：千円，%)

区 分	令和4年度 当初予算額①	令和5年度 当初要求額②	比 較		備 考
			②-①	②/①	
衛生費	2,468,999	2,394,798	▲ 74,201	97.0	
病院事業会計への繰 出金	2,468,999	2,394,798	▲ 74,201	97.0	

査定結果

要求とおり

2 取組状況と令和5年度計画

(1) 広島病院の取組状況等

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対応のため、重点医療機関として主に入院加療が必要な中等症以上の患者を積極的に受け入れる一方で、脳心臓血管センター、呼吸器センター、消化器センターなど専門医療センターによる高度医療の強化に取り組んでいる。また、ドクターカーの運用や、内科救急診療部の設置による救急患者受け入れの迅速化、手術支援ロボットの導入や高精度放射線治療システムの更新など、がん医療の対応強化に継続して取り組んでいる。

しかしながら、昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、受診患者数が感染症流行前の状態に完全には回復していないことから、医業収支は厳しい状況となっている。

令和5年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症対応を行いながら、救急医療の強化、地域連携の強化、がんゲノム医療の推進など高度医療の強化に取り組むとともに、経費の節減など収支改善にも取り組んでいく。

① 令和4年度の主な成果及び令和5年度の主な取組

<患者受入体制の強化>

項 目	令和4年度の主な成果及び令和5年度の主な取組
救急医療の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○救急車応需率向上に向けた取組（H28.8～継続） <ul style="list-style-type: none"> ・院内の救急部会での救急患者受入要請の不应需事例の検証 救急車応需率（R3 75.8% R4 見込 70.3%） 救急車・ヘリ受入件数（R3 6,611件 R4 見込 7,700件） ○救命救急センター（ICU・HCU）等の効果的な活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ICU・HCUへの救急患者、院内術後重症患者等の受入れ ・内科救急診療部における内科疾患の救急紹介・救急患者（原則救急車限定）に対する窓口の一本化による患者の受け入れの迅速化・効率化の継続実施（H31.4～） ○ドクターカーの運用（H30.7～平日日中で運用） <ul style="list-style-type: none"> ・ドクターカーで救命救急センター医師等が救急現場へ急行、処置することにより、救急患者の治療成績向上や救急隊の病院選定の負担軽減（受入困難事例の減少と搬送病院選定の時間短縮）を図る。 ドクターカー出動件数（R3 236件（うち広島病院受入件数126件） R4 見込 312件）
がん医療を含めた高度医療の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○呼吸器・消化器センターの機能の充実（H29.4～継続） <ul style="list-style-type: none"> ・複数診療科の連携による専門センターの設置運用（肺、消化管等の悪性腫瘍の受入強化） 新規入院患者数（呼吸器センター R3 1,728人 R4 見込 1,908人） （消化器センター R3 2,372人 R4 見込 2,648人） ○がん遺伝子診療機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・がんゲノム医療中核拠点病院と連携して検査等を行なう「がんゲノム医療連携病院」の指定（H30.3）を受け、遺伝子情報に関する検査を実施（H30.7～） 遺伝カウンセリング（R3 77件 R4 見込 62件）※健康保険対象分 がん遺伝子パネル検査（R3 75件 R4 見込 117件）※健康保険対象分 ・ゲノム診療科の設置によるがんゲノム医療提供体制の強化（R4～） ○医療機器の導入、更新による高度医療の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・手術支援ロボット（ダヴィンチ）の新規導入による手術の高度化及び安全性の向上（R3.9導入） ・老朽化が進んでいる高精度放射線治療システム（リニアック）の更新により、がん診療連携拠点病院として、放射線治療に係る診療機能を維持、強化（R4.10.24診療再開）
地域医療連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○地域完結型医療の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ダヴィンチ導入、リニアック更新など高度医療機能の他の医療機関等への積極的なPR ・かかりつけ医との連携強化（逆紹介の推進） 紹介率（R3 93.8% R4 見込 93.8%） 逆紹介率（R3 141.3% R4 見込 140.2%）
新型コロナウイルス感染症への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症重点医療機関として県内最大数の病床を確保し、重症を含む中等症以上の患者を中心とした入院患者の受け入れを積極的に実施 （R3 延7,757人（うち中等症以上4,373人） R4.4～9 延4,787人（うち中等症以上1,693人）

<医療の質と患者満足度の向上>

医療の質と患者満足度の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○チーム医療の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・患者が抱える課題に対し、多種の医療職種からなるチームを編成し、それぞれの専門知識を活用して医療の質（早期回復、早期退院など）の向上を目指す。また、担当する専門・認定看護師など医療職を育成する。 ・栄養サポートチーム ・褥瘡対策チーム ・糖尿病チーム ・口腔ケアチーム ・摂食嚥下チーム ・認知症ケアチーム ・精神科リエゾンチーム ・周術期管理チーム (R4 新設) ○業務改善活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・午後外来の推進などによる患者待ち時間の短縮 ・TQM活動、5S活動の推進 ・患者満足度アンケート（満足割合）（外来全体）R3 96.5%（外来待ち時間）R3 73.4% ○ジェネリック薬品の導入促進による患者医療費負担の軽減 ○周術期管理センターの設置（R4～） <ul style="list-style-type: none"> ・入退院関連業務を集約した患者総合支援センターによる患者、家族の入退院に関する相談等のワンストップ支援を継続することに加え、令和4年度に設置した周術期管理センターを併設し、手術患者の課題について入院前から多職種で支援することにより、術後の早期回復・退院を目指す。
---------------	--

<収支改善への取組>

項 目	令和4年度の主な成果及び令和5年度の主な取組
増収対策の取組強化	<ul style="list-style-type: none"> ○診療報酬算定適正化への継続的な取組 <ul style="list-style-type: none"> ・DPC機能評価係数の向上と、入院収益改善を図ることを目的とした「入院期間適正化P-T」において、診療科別の入院期間の適正化を継続実施(H31.4～)
材料費、経費等の費用の節減	<ul style="list-style-type: none"> ○材料の標準化・統一化等 <ul style="list-style-type: none"> ・薬品も含め、材料の標準化・統一化を図るとともに、全国価格データによる値引き交渉や、共同購入を引き続き実施

② 経営状況（経営目標）

（広島病院）

業務の状況		R3 (実績)	(A)R4 (当初)	(B)R4 (見込)	(C)R5 (当初)	比較											
						C-A	C-B										
患者数(人)	入院延患者数	168,290	172,823	172,823	179,404	6,581	6,581										
	病床利用率	78.1%	75.6%	75.6%	78.3%	+2.7p	+2.7p										
	外来延患者数	249,808	261,315	261,315	273,916	12,601	12,601										
入院単価(円)		89,013	87,883	88,281	92,800	4,917	4,519										
外来単価(円)		26,287	26,311	26,311	25,447	▲ 864	▲ 864										
経常収益		27,525	26,106	26,176	27,181	1,075	1,005										
経常費用		24,890	25,912	26,164	27,030	1,118	866										
経常収支		2,635	194	12	151	▲ 43	139										
経常収支の状況(百万円)		<table border="1" style="display: none;"> <caption>経常収支の状況(百万円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>700</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>2,635</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>151</td> </tr> </tbody> </table>						年度	実績(見込)	R2	700	R3	2,635	R4	12	R5	151
年度	実績(見込)																
R2	700																
R3	2,635																
R4	12																
R5	151																

(2) 安芸津病院の取組状況等

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症への対応として、ワクチンの接種や発熱外来の設置、入院患者の受入などを行っており、最大17床の病床を提供している。

また、新たな専門外来やアウトリーチクリニックを継続し、増収対策の取組強化を図るとともに、耐震化対応への検討を進めている。

令和5年度は、引き続き予防医療を推進するほか、地域包括ケア病床の増床や在宅医療の提供を通じて、地域包括ケア体制を一層充実・強化させるとともに、収支の改善に取り組んでいく。

また、耐震化対応の具体化に向け検討を進めていく。

① 令和4年度の主な成果及び令和5年度の主な取組

<危機管理対応・医療機能の強化（患者受入体制の強化）>

項目	令和4年度の主な成果及び令和5年度の主な取組
災害対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○耐震化対応に向けた検討 <ul style="list-style-type: none"> ・旧棟の耐震化対応に向けた検討を開始（R1.9～） ・新型コロナウイルス感染症の流行による患者数を踏まえ、耐震化対応に係る方向性について検討（R4～）
予防医療の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○人間ドック・がん検診の件数増に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により中止していた医療公開講座や地域イベントへの参加、地元企業や行政機関への訪問による健診受診促進 健診受診者数（R3 1,121人 R4 見込 993人） 内視鏡件数（R3 1,387件 R4 見込 1,361件） ・多職種による骨粗鬆症予防のための出張講座等の実施
地域との連携 （地域包括ケアの推進）	<ul style="list-style-type: none"> ○介護施設等との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネージャーを有する町内の全介護保険施設が参加する協議会である「あきつのと」を通じて、地域の介護施設等との連携強化を図ることで、地域包括ケアシステムの質の向上に貢献 ・認定看護師による他病院や介護施設等への感染症予防対策や認知症対策等の指導を実施し、地域の医療・介護機能を向上 訪問看護実施数（R3 1,744 枠 R4 見込 1,643 枠） ○地域包括ケア病床（急性期後のリハビリ、在宅復帰に向けた支援）の拡充（H29.4～） <ul style="list-style-type: none"> ・長期入院ニーズに対応し、平成29年度に21床から29床に8床増床、令和5年度以降、更なる増床を予定 地域包括ケア病床稼働率（R3 63.3%※ R4 見込 65.0%※） ※新型コロナウイルス感染症患者の受入期間中、地域包括ケア病床を閉鎖している
新型コロナウイルス感染症への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症患者の受入を実施 （R3 延481人（うち中等症以上237人） R4.4～9 延416人（うち中等症以上260人）） ・発熱などの症状がある患者の診療を行う発熱外来を設置 （R3年度1,033人、R4年度（～R4.9）1,796人） ・個別接種医療機関として、地域住民等に対しワクチン接種を実施 （R3 2,145件 R4.4～9 1,958件）

<医療の質と患者満足度の向上>

医療の質と患者満足度の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○TQM活動や5S活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・広島病院の改善推進部と連携し、TQM活動、5S活動の推進 ○ジェネリック薬品の導入促進による患者医療費負担の軽減 <ul style="list-style-type: none"> ジェネリック使用数量割合（R3 90.2% R4 見込 90.0%） ○認知症への対応力向上 <ul style="list-style-type: none"> ・認知症を患う入院患者への対応力向上のため、精神科医による診療援助を開始（R3.11～）
---------------	---

<収支改善の取組>

増収対策の取組強化	<ul style="list-style-type: none"> ○訪問診療の取組の継続等による診療報酬の取得の継続 <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア入院医療管理料 1 (H30. 7~) ○看護体制の強化による加算の継続 <ul style="list-style-type: none"> ・看護職員配置加算 (H30. 5~), 看護職員夜間配置加算 (H30. 5~), 急性期看護補助体制加算 (H30. 4~) ○新たな外来の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・外科の専門外来として, 「乳腺専門外来」を新たに開始 (R3. 4~) 患者数 (R3 136人 R4 見込 129人)
材料費・経費等の費用節減	<ul style="list-style-type: none"> ○薬品費の節減 <ul style="list-style-type: none"> ・使用薬品を広島病院と共通化し, 両病院共同で購入価格の適正化を推進 共通化品目割合 (R3 99.5% R4 見込 99.5%)

② 経営状況 (経営目標)

(安芸津病院)

業務の状況		R3 (実績)	(A)R4 (当初)	(B)R4 (見込)	(C)R5 (当初)	比較	
						C-A	C-B
患者数(人)	入院延患者数	18,754	26,789	26,789	26,263	▲ 526	▲ 526
	病床利用率	65.7%	74.9%	74.9%	73.2%	▲1.7p	▲1.7p
	外来延患者数	51,769	56,505	56,505	61,737	5,232	5,232
入院単価(円)		34,740	34,368	34,652	37,990	3,622	3,338
外来単価(円)		9,236	8,386	8,386	7,833	▲ 553	▲ 553
経常収益		2,116	2,045	2,053	2,341	296	288
経常費用		2,077	2,195	2,229	2,336	141	107
経常収支		39	▲ 150	▲ 176	5	155	181

経常収支の状況(百万円)	<p>経常収支の状況(百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-176</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績(見込)	R2	98	R3	39	R4	-176	R5	5
年度	実績(見込)										
R2	98										
R3	39										
R4	-176										
R5	5										

(3) 病院事業全体 (経営状況)

(病院事業全体)

業務の状況		R3 (実績)	(A)R4 (当初)	(B)R4 (見込)	(C)R5 (当初)	比較	
						C-A	C-B
患者数(人)	入院延患者数	187,044	199,612	199,612	205,667	6,055	6,055
	病床利用率	76.7%	75.5%	75.5%	77.6%	+2.1p	+2.1p
	外来延患者数	301,577	317,820	317,820	335,653	17,833	17,833
入院単価(円)		83,571	80,701	81,083	85,801	5,100	4,718
外来単価(円)		23,360	23,124	23,124	22,207	▲ 917	▲ 917
経常収益		29,641	28,151	28,229	29,522	1,371	1,293
経常費用		26,967	28,107	28,393	29,366	1,259	973
経常収支		2,674	44	▲ 164	156	112	320

経常収支の状況(百万円)	<p>経常収支の状況(百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>602</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>2,674</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-164</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>156</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績(見込)	R2	602	R3	2,674	R4	-164	R5	156
年度	実績(見込)										
R2	602										
R3	2,674										
R4	-164										
R5	156										

3 財務状況

(1) 比較予定損益計算書

(単位：千円)【税抜】

科 目	R4決算 見込 (A)	R5当初 予算 (B)	差 引 (B-A)
病院事業収益 a	28,185,883	29,477,904	1,292,021
医業収益 b	24,145,434	25,778,222	1,632,788
入院収益	16,182,641	17,643,839	1,461,198
外来収益	7,324,548	7,429,590	105,042
その他	638,245	704,793	66,548
医業外収益 c	4,010,449	3,669,682	▲ 340,767
特別利益 d	30,000	30,000	0
病院事業費用 e	28,371,684	29,342,476	970,792
医業費用 f	26,790,327	27,726,506	936,179
給与費	13,726,146	13,808,221	82,075
材料費	7,832,006	8,321,051	489,045
減価償却費	1,482,932	1,435,621	▲ 47,311
その他	3,749,243	4,161,613	412,370
医業外費用 g	1,529,310	1,568,065	38,755
特別損失 h	52,047	47,905	▲ 4,142
当年度純損益 (a-e)	▲ 185,801	135,428	321,229
経常収支 (b+c)-(f+g)	▲ 163,754	153,333	317,087

(2) 予定キャッシュフロー計算書

(単位：千円)【税抜】

科 目	R 4 年度	R 5 年度
I 業務活動によるキャッシュフロー		
当年度純損益	▲ 185,801	135,428
退職給付等 (退職給付, 賞与, 貸倒) 引当	17,783	42,627
減価償却費	1,482,932	1,435,621
固定資産の除却	28,329	25,519
長期前払消費税償却・繰延勘定償却	82,938	84,059
長期前受金戻入収益	▲ 550,953	▲ 569,153
その他 (未収金・未払金の増減等)	1,522,009	▲ 342,480
業務活動によるキャッシュフロー	2,397,237	811,621
II 投資活動によるキャッシュフロー		
固定資産の取得等	▲ 1,668,640	▲ 1,173,890
その他 (一般会計負担金等)	795,051	681,962
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 873,589	▲ 491,928
III 財務活動によるキャッシュフロー		
企業債の発行	2,142,900	1,012,500
企業債等 (企業債, 基金借入金) の償還金	▲ 2,243,011	▲ 1,959,113
一般会計出資金	1,802	1,833
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 98,309	▲ 944,780
IV 資金増減額	1,425,339	▲ 625,087
V 資金期首残高	1,330,934	2,756,273
VI 資金期末残高	2,756,273	2,131,186
フリーキャッシュフロー (営業CF+投資CF)	1,523,648	319,693

(3) 比較予定貸借対照表

(単位：千円)【税抜】

科 目	R 4 年 度 末		R 5 年 度 末		差 引(B-A)	
	金 額(A)	構 成 比 率	金 額(B)	構 成 比 率		
資 産 の 部	固定資産	16,582,676	69.6%	16,104,278	69.7%	▲ 478,398
	有形固定資産	16,030,397	67.3%	15,542,554	67.3%	▲ 487,843
	無形, その他の資産	552,279	2.3%	561,724	2.4%	9,445
	流動資産	7,256,065	30.4%	6,985,469	30.3%	▲ 270,596
	現金預金	2,756,273	11.6%	2,131,186	9.2%	▲ 625,087
	未収金, その他	4,499,792	18.8%	4,854,283	21.1%	354,491
	うち貸倒引当金	▲ 31,237	▲ 0.1%	▲ 31,237	▲ 0.1%	0
資 産 合 計	23,838,741	100.0%	23,089,747	100.0%	▲ 748,994	
負 債 の 部	固定負債	12,856,622	54.0%	11,759,579	51.0%	▲ 1,097,043
	うち企業債	6,656,273	27.9%	5,559,230	24.1%	▲ 1,097,043
	うち退職給付引当金	5,982,345	25.1%	5,982,345	25.9%	0
	流動負債	6,774,300	28.4%	6,872,279	29.8%	97,979
	うち企業債	2,222,620	9.3%	2,373,050	10.3%	150,430
	うち賞与引当金	538,466	2.3%	581,093	2.5%	42,627
	繰延収益 (長期前受金)	2,919,583	12.2%	3,032,392	13.1%	112,809
負 債 合 計	22,550,505	94.6%	21,664,250	93.9%	▲ 886,255	
資 本 の 部	資本金	29,028,422	121.8%	29,030,255	125.7%	1,833
	自己資本金	29,028,422	121.8%	29,030,255	125.7%	1,833
	うち繰入資本金	28,467,791	119.4%	28,469,624	123.3%	1,833
	剰余金	▲ 27,740,186	▲ 116.4%	▲ 27,604,758	▲ 119.6%	135,428
	資本剰余金	865,790	3.6%	865,790	3.7%	0
	利益剰余金(累積欠損金)	▲ 28,605,976	▲ 120.0%	▲ 28,470,548	▲ 123.3%	135,428
	繰越欠損金年度末残高	▲ 28,420,175	▲ 119.2%	▲ 28,605,976	▲ 123.9%	▲ 185,801
当年度純損益	▲ 185,801	▲ 0.8%	135,428	0.6%	321,229	
資 本 合 計	1,288,236	5.4%	1,425,497	6.1%	137,261	
負債・資本 合 計	23,838,741	100.0%	23,089,747	100.0%	▲ 748,994	